

東医薬病第 516号  
令和7年10月3日

都道府県知事 殿

住 所  
申請者 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号  
氏 名  
東北医科薬科大学病院  
病院長 佐藤 賢一

#### 東北医科薬科大学病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して別添のとおり報告します。

項目1： 基本情報

① 医療機関コード（医科 / 歯科）

医科	045213008
歯科*	045231741

\*歯科の医療機関コードが割り振られている場合のみ

② 開設者\*

住所**	宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号
氏名	学校法人 東北医科薬科大学

\*開設者とは、医療機関の開設・設営の責任主体であり、原則として営利を目的としない法人又は医師である個人であるものをいいます。

\*\*開設者が法人である場合は「住所」には法人事務所の所在地、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

③ 病院情報

病院名	東北医科薬科大学病院
管理者 役職・氏名	病院長・佐藤 賢一
郵便番号 (半角ハイフンなし)	9838512
所在地1 (自動入力)	
所在地2	宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号
電話番号	022-259-1221

一般病床数	554
療養病床数	0
感染症病床数	0
精神病床数	46
結核病床数	0
合計病床数	600

④ 地域医療支援病院の承認年月日

年月日	平成25年3月1日
-----	-----------

項目2：紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

① 紹介率・逆紹介率

紹介率	
紹介患者数 ・・・ (1) *	12431
初診患者数 ・・・ (2) **	17414
紹介率 ・・・ (1) ÷ (2)	71.39%
逆紹介率	
逆紹介患者数 ・・・ (3) ***	16807
逆紹介率 ・・・ (3) ÷ (2)	96.51%

\* (1) 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数  
(初診の患者に限る)。以下を含む：電話情報により自院の医師が紹介状に転記した患者、紹介状または検査票のある、精密検診のための受診

\*\* (2) 医学的に初診といわれる診療行為があった患者数(以下を除く：救急患者数、休日又は夜間に受診した患者、自院の健康診断で疾患が発見された患者)

\*\*\* (3) 診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者(開設者と直接関係のある他の機関に紹介した患者を除く)。

項目3：共同利用の実績

① 利用医師等登録制度の実施にあたる担当者の役職

役職	病院長
----	-----

② 登録医療機関数

登録医療機関数	789
上記のうち、開設者と直接関係のない*医療機関の数	789

\*「開設者と直接関係がない」とは、開設者や代表者が同一である場合、または親族である場合、理事などの役員の3/10が親族が占めている場合、またはそれに準じて重要な影響を与えている医療機関ではないものをおいいます。

③ 共同利用状況

共同利用にかかる病床	
共同利用にかかる病床数	4
共同利用にかかる病床の病床利用率*	0

\*共同病床利用率（小数点第1位まで）

$$\frac{\text{共同利用病床を共同利用にて使用した患者の年間患者延数}}{(\text{月間日数} \times \text{月末病床数}) \text{ の } 1 \sim 12 \text{ 月の合計}} \times 100$$

共同利用を実施している医療機器*	
<input checked="" type="checkbox"/>	CT
<input checked="" type="checkbox"/>	MRI
<input type="checkbox"/>	PET
<input checked="" type="checkbox"/>	放射線治療機器（リニアック・ガンマナイフ）
<input checked="" type="checkbox"/>	マンモグラフィ
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
▼ 「その他」を選択した場合は入力してください。	
血管撮影装置、消化管内視鏡装置、超音波診断装置（心臓・腹部）、RI装置	

\*出典：外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次（前期）～

▼共同利用している施設（建物）等

会議室（大会議室、中会議室）、図書室

共同利用を行った医療機関の延べ数

0

## 項目4：救急医療の提供の実績

### ① 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	5,295
上記以外の救急患者の数	2,920

\*:地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数(救急患者の数)

### ② 重症救急患者のための病床の確保状況

優先使用の病床数	5
専用病床数	13

### ③ 重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設の概要

24時間救急車応需、ICU受入れ可能、カテーテル検査、内視鏡検査受入れ可能

\*24時間体制になっているかも含めてご回答ください。

④ 通常の当直体制以外に重症救急患者の受け入れに対応できる体制の確保状況

体制の確保	あり	
▼ 「あり」を選択した場合は入力してください。		
	常勤	非常勤
医師数	5	
うち専従数	5	
看護師数（准看護師含む）	23	
うち専従数	23	
薬剤師数		
うち専従数		
診療放射線技師数		
うち専従数		
臨床検査技師数		
うち専従数		
臨床工学技士数		
うち専従数		
上記以外の従事者数	1	

項目5： 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

① 教育責任者の役職名

役職	職員研修管理委員会 委員長
----	---------------

② 研修委員会

研修委員会の設置	あり
「あり」の場合 その名称を入力	職員研修管理委員会

③ 研修について

研修プログラムの有無	あり
研修会開催回数*	20
研修会のうち医師以外の医療従事者 を対象にしたもの回数	20
研修会参加延べ人数	573
症例検討会の開催回数	13
医学・医療に関する講習会の開催回数	1

### ▼主な研修概要

- 1.地域連携交流・研修会
- 2.宮城県緩和ケア研修会
- 3.高次脳機能障害者支援普及事業専門研修会（2回）
- 4.がん診療連携講演会
- 5.NST専門療法実地修練研修会
- 6.静脈経腸栄養研修会
- 7.がん連記会議（3回）
- 8.薬薬連携研修会（2回）
- 9.宮城 高齢者医療×漢方フォーム
- 10.心不全医療連携講演会
- 11.宮城野アレルギー連携セミナー
- 12.生活習慣病地域連携セミナー
- 13.杜の都 腎不全医療・看護セミナー

### ▼主な研修施設概要

大会議室、中会議室、プラタナスホール

\* : 研修会開催回数は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものに限る

項目6： 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

① 管理責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	病院長
担当者の役職	医療情報センター長

② 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

▼診療に関する諸記録の管理方法 電子文書保管（電子カルテ）及び紙カルテ（外来・入院紙カルテ）はターミナルデジット方式にて管理
▼病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法 各担当部署で保管・管理

項目7： 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

① 閲覧責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	病院長
担当者の役職	医療情報グループ（診療情報係）チーフ

② 主な閲覧方法

閲覧方法	電子カルテの場合は閲覧用IDを発行し閲覧室にて実施 紙カルテの場合は依頼されたカルテを抽出し閲覧室にて実施
------	--

③ 閲覧件数・概要

件数	0
▼閲覧者別件数	
医師	0
歯科医師	0
地方公共団体	0
その他	0

項目8：医療法施行規則第9条の19第1項第1号に規定する委員会の開催の実績

① 委員会について

委員長の所属・役職	病院長
委員数	19
院外の委員数	10
総開催回数	4
▼概要	
<p>第1回 地域医療連携会議 2024年6月 当院のがんサロンのとりくみ 災害対応時についての当院の取り組み 市民公開講座開催について</p> <p>第2回地域医療連携会議 2024年10月 在宅医療支援・仙台市救急医療病院間連携推進事業について がんサロンからのお知らせ 市民公開講座開催について</p> <p>第3回地域医療連携会議 2024年2月 市民公開講座開催について がんサロンからのお知らせ</p> <p>第4回地域医療連携会議 2024年3月 2024年度地域連携業務に関するアンケート結果について 2025年度市民公開講座のお知らせについて</p>	

項目9：患者相談の実績

- ① 主として患者相談を行った者の役職（複数回答可）

役職	ソーシャルワーカー
----	-----------

- ② 患者相談について

患者相談を行う場所	相談支援センター / がん相談支援センター
総相談件数	13715

項目10： 病院機能に対する第三者評価の実績

病院機能について 第三者による評価を受けているか	はい
▼ 「はい」の場合、どのような評価を受けているか	
日本医療機能評価機構・一般病院2・3rdG:Ver.2.0	

項目11： 退院調整部門

退院調整部門の設置の有無	はい
--------------	----

項目12： 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	はい
▼ 「はい」の場合、情報発信・内容等の概要	
登録医ニュースメタセコイア（年度3回発行） 診療科紹介（2年に1度発行） 市民公開講座の開催 2024年9月開催 大腸がん検診の重要性について 2024年10月開催 骨の日・フレイルイベント 2025年3月開催 花粉症重症化ゼロ作戦	

## 項目13： 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	はい
▼ 「はい」の場合、その内容や運用方法の概要	
大腿骨頸部骨折「ジョイントケア・ネット宮城」地域連携バス	
適応基準	
1：大腿骨頸部骨折の患者で、観血的骨折手術、人工骨頭置換術などの手術を行った症例。かつ、原則として歩行訓練時に荷重制限を必要としない症例。（転院先の連携医療機関等が承諾すれば、荷重制限があっても送付資料に明記すれば連携バスは利用可能）	
2：計画管理病院として施設基準を満たさない場合であっても、連携バスシートに「連携バス算定不可」と記入することにより、連携バスの運用は可能とする。	
転院基準	
1：急性期の合併症がない、あるいは合併症が生じても良くコントロールされている、と主治医が判断できる症例。かつ、リハビリテーションに対し理解と気力があり、リハビリテーションを行うことで移動能力や日常生活動作に改善が見込めると判断できる症例。	
肺がん地域連携バス	
計画策定病院	
計画を策定する医療機関は東北医科薬科大学病院とし、『がん治療連携計画策定料』の施設基準の届出の際に連携医療機関と連携するがん種類等を明記する。	
連携医療機関	
連携する医療機関は、東北医科薬科大学病院を計画策定病院とする『がん治療連携指導料』の施設基準の届出を行った医療機関であること。施設基準の届出は連携する各医療機関が行い、届出の際に計画策定病院と連携するがん種類等を明記する。	
対象患者（適応基準）	
①患者に対して「がん告知」がされていること ②患者及び家族が、がん地域連携バスに同意していること ③がんと診断後初回入院であり、入院中または退院後から30日以内に地域連携バスを適用できること ④病状が安定し、再発の可能性が低いこと 以上を考慮し、対象患者は東北医科薬科大学病院の主治医が判断する	

## 項目14： その他の特記事項